

各時の指導案(書式案)

執筆者：若松大輔

教科・科目名	社会科	対象学年	第5学年
単元名	情報を活かして発展する産業		
時間数	全7時間	第何時	第1時間目
本時の目標			
・本単元における学習課題（評価課題／パフォーマンス課題）の内容を理解すること ・発展のために情報活用を効果的に行ってきた1つがコンビニであることを理解すること			
準備物など			
パフォーマンス課題の映像			
本時の展開			
	子どもの活動、反応例	教師による指導	ICT活用
導入	これまでの産業学習を復習する。	これまでの社会科（産業学習）で学んだことの復習を行う。その際に、産業と情報の関係（e.g.スマート農業）について適宜、着目させる。	
展開1	パフォーマンス課題の動画を視聴する。		学級全体で映像視聴
展開2	映像を分析的に読み取り、学習課題（映像の中の店主が何に困っているのか）を整理・理解する。	子どもたちの意見を踏まえつつ、パフォーマンス課題で要求されていることを整理する。 すなわち、パフォーマンス課題では、利益をあげるために、どのような情報をどのように活用することを有効であるかということを考えることが求められていることを子どもたち全員に共有する。 ※「利益をあげる」とは、「売上をあげること」と「経費を抑えること」で達成されることを説明する。	個人のタブレットで映像分析 or 学級全体で映像分析
まとめ		情報を効果的に活用している例がコンビニであることを見つけさせ、次回までに可能であればコンビニへ行ってどのような情報をどのように活用しているのかを見てくるように指示をする。	
留意事項			
・導入における産業学習の復習については、各学級の学びに合わせて柔軟に内容を組み替えていただいて構わない。 ・子どもたちは、「利益をあげる」ための方向として「売上をあげること」は容易にイメージできる			

が、「経費を抑えること」がなかなかイメージをすることが困難であるかもしれないため、丁寧に説明されたい。

各時の指導案(書式案)

教科・科目名	社会科	対象学年	第5学年
単元名	情報を活かして発展する産業		
時間数	全7時間	第何時	第2時間目
本時の目標			
コンビニで使用しているPOSシステムは、「これまでの業務の効率化する方向」で情報を活かしていることを理解する。			
準備物など			
本時の展開			
	子どもの活動、反応例	教師による指導	ICT活用
導入	・パフォーマンス課題の内容を確認する。 ・コンビニではどのような情報をどのように活用していたのかについて意見交換する。	・パフォーマンス課題の内容を確認する。 ・実際にコンビニを見てきた子どもたちがいれば、どのような情報をどのように活用していたかを聞く。ただし、この活動は導入としての位置づけであるため、POSシステム等のキーワードが出てこなくても構わない。	
展開Ⅰ	POSシステムは、何のためにどのような情報をどのように活用しているシステムなのかを考える。	NHK for School「恋するコンビニ事件！?～情報をいかす販売業～」などの映像や、教科書・デジタル資料集を用いて、POSシステムが何のためにどのような情報をどのように活用しているものであるのかを考えさせる。 この学習活動では、POSシステムが導入される以前のコンビニと比較することが効果的である。	NHK for School デジタル資料集
まとめ		コンビニで使用しているPOSシステムは、「これまでの業務の効率化する方向」で情報を活かしていることを学級全体で共有する。	
留意事項			
・ 第2時から第4時までの内容は柔軟に組み替えたり加えたりしても構わない。			

各時の指導案(書式案)

教科・科目名	社会科	対象学年	第5学年
単元名	情報を活かして発展する産業		
時間数	全7時間	第何時	第3時間目
本時の目標			
コンビニで使用している在庫管理システムは、「これまでの業務の効率化する方向」で情報を活かしていることを理解する。			
準備物など			
本時の展開			
	子どもの活動、反応例	教師による指導	ICT活用
導入	・パフォーマンス課題の内容を確認する。	・パフォーマンス課題の内容を確認する。	
展開Ⅰ	在庫管理システムは、何のためにどのような情報をどのように活用しているシステムなのかを考える。	NHK for School「恋するコンビニ事件！?～情報をいかす販売業～」などの映像や、教科書・デジタル資料集を用いて、在庫管理システムが何のためにどのような情報をどのように活用しているものであるのかを考えさせる。 この学習活動では、在庫管理システムが導入される以前のコンビニと比較することが効果的である。	NHK for School デジタル資料集
まとめ		コンビニで使用している在庫管理システムは、「これまでの業務の効率化する方向」で情報を活かしていることを学級全体で共有する。	
留意事項			
- 第2時から第4時までの内容は柔軟に組み替えたり加えたりしても構わない。 - 在庫管理システムに加えて、デジタル資料集等を用いて、その他の情報の活用方法について扱われても構わない。			

各時の指導案(書式案)

教科・科目名	社会科	対象学年	第5学年
単元名	情報を活かして発展する産業		
時間数	全7時間	第何時	第4時間目
本時の目標			
顧客管理システム、コメント分析ツール、ウェブカメラは、「新たな付加価値を創出する方向」で情報を活かしていることを理解する。			
準備物など			
本時の展開			
	子どもの活動、反応例	教師による指導	ICT活用
導入	・パフォーマンス課題の内容を確認する。	・パフォーマンス課題の内容を確認する。	
展開Ⅰ	顧客管理システム、コメント分析ツール、ウェブカメラは、何のためにどのような情報をどのように活用しているシステムなのかを考える。	全国の事例（留意事項参照）や、教科書・デジタル資料集を用いて、顧客管理システム、コメント分析ツール、ウェブカメラが何のためにどのような情報をどのように活用しているものであるのかを考えさせる。	映像 デジタル資料集
まとめ		顧客管理システム、コメント分析ツール、ウェブカメラは、「新たな付加価値を創出する方向」で情報を活かしていることを学級全体で共有する。	
留意事項			
- 第2時から第4時までの内容は柔軟に組み替えたり加えたりしても構わない。 - コメント分析ツールやウェブカメラは、個人情報保護の観点から注意深く扱わなければならないことを説明されたい。 - 本時に関して、たとえば「ゑびや大食堂」および「EBILAB」の事例がある。詳しくは次の動画を参照されたい。 「”世界一IT化された食堂”が実装している小売業・飲食業の売上・利益が飛躍的に上がるシステムを事細かくご説明します！(https://youtu.be/sG2RmuCE75A?si=8IVjX-gjfVZXj_6R)」			

各時の指導案(書式案)

教科・科目名	社会科	対象学年	第5学年
単元名	情報を活かして発展する産業		
時間数	全7時間	第何時	第5・6時間目
本時の目標			
これまで学んできたことを踏まえて、八万食堂を立て直すためには「何のために」「どのような情報(データ)」「どのように」を使うとよいのかを整理して、作品をつくる。			
準備物など			
本時の展開			
	子どもの活動、反応例	教師による指導	ICT活用
導入	・パフォーマンス課題の内容を確認する。	・パフォーマンス課題の内容を確認する。	
展開Ⅰ	作品をつくる。	個別の支援を行う。	
展開Ⅱ	学級の中で意見交換や相談をして自身の作品を練り上げる。		
まとめ		次回、作品発表会を行うことを伝える。	
留意事項			
- 作品づくりは、学級の子どもたちの実態に合わせて、ワークシートやロイロノート、プレゼンテーションソフト等を適宜選択されたい。 - 学習形態(e.g.グループや個人)は子どもたちの実態に合わせて適宜判断されたい。			

各時の指導案（書式案）

教科・科目名	社会科	対象学年	第5学年
単元名	情報を活かして発展する産業		
時間数	全7時間	第何時	第7時間目
本時の目標			
具体的に「産業を発展させるために、どのように／どのような情報（データ）を活用すればよいのか」について理解を深める。			
準備物など			
本時の展開			
	子どもの活動、反応例	教師による指導	ICT活用
展開Ⅰ	自身の作品を発表して考えを共有する。	全体で発表会を行う場合は、子どもたちの発表を意味づける。	
展開Ⅱ	今回のコンビニ学習と作品づくりの経験を踏まえて、「産業を発展させるために、どのように／どのような情報（データ）を活用すればよいのか」について、自身の考えをまとめる。		
まとめ		「産業をよりよくさせていくためには、人の経験と勘に頼っていたものを大量のデータとして収集して、これまでの業務を効率化する方向と、新たな付加価値を創出する方向に、活用すればよい」ということをまとめる。	
留意事項			
発表会の形態は子どもたちに実態に合わせて適宜判断されたい。			